

[第23回] クイズ チャレンジ!!



琵琶湖文化館の収蔵品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。さあ、答えがわかるかな？気軽にチャレンジしてみよう！

問題 65

草津市の芦浦観音寺に伝来した王会図には、中国周辺の異民族が皇帝に貢ぎ物を献上するようすが描かれています。

現状は6曲1双の屏風仕立てとなつていますが、作品に残る痕跡をみると、以前は屏風とは違う使われ方をしていたことがわかります。さて、この屏風絵は一体何に描かれていたのでしょうか？



ヒント：[[🔍 収蔵品紹介 < 絵画 < 王会図屏風](#)]

答えを次の中からお選びください。

- ① 衝立 (ついたて)
どうも形を加工したらしい？
- ② 天井絵 (てんじょうえ)
コレはぜったい貼り合わせている！
- ③ 襖絵 (ふすまえ)
手をかける「引手」の跡か？！

問題 66

ほとけさまの中で如来が住んでおられる世界のことを浄土といいますが、じつはそれぞれの如来ごとに住んでいる浄土が異なることは、ご存じでしたか？そこで問題です。

「西方極楽浄土」に住み、死後に極楽へと導くためお迎えにきてくださる、ありがたいほとけさまは、どっち？

ヒントは「ナンマイダブ」?!



阿弥陀如来

指で輪をつくる手の形が特徴です。



薬師如来

万病に効くという薬の入った薬壺(やっこ)を左手に持っています。



[第23回] クイズチャレンジ!!



【解答編】

答え65

正解は【③ 襖絵（ふすまゑ）】

作品には、襖の引手部分^{ひきて}を埋めた跡が確認できます。



王会図屏風
(草津・観音寺蔵)



こんなに豪華な絵に
囲まれて暮せるなん
て、なんてステキ!

[〇 収蔵品紹介 < 絵画 < 王会図]

本図は、令和3年2月に新たに県指定有形文化財に指定されました。

答え66

正解は【阿弥陀如来（あみだによらい）】

亡くなった後、お迎えに来てくださるのは、西方極楽浄土^{さいほうごくらくじょうど}に住まう阿弥陀如来さま。(ほとけさまをおがむときによく口に
する「ナンマイダブ」は「南無阿弥陀仏」(阿弥陀仏に帰依
します) という念仏が語源になっています。)

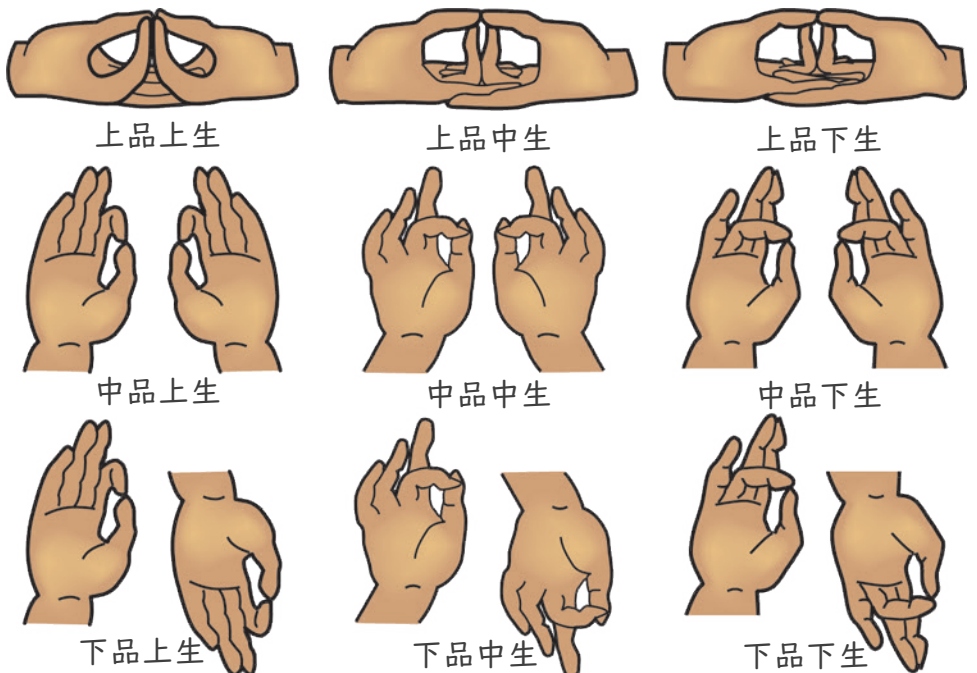


生きていくのが精一杯だった時代、
念仏を唱える者は必ず極楽浄土へ行
けるとする浄土思想の広まりととも
に、阿弥陀如来への信仰が盛んにな
りました。滋賀県においても、絵画
や彫刻、石仏など、数多くみられる
ほとけさまです。

さまざまな姿であらわされる阿弥陀如来ですが、印相（手は形）は必ず指で輪をつくる“OKサイン”をしておられますので、比較の見分けやすいほとけさまです。

『観無量寿経』^{くぼん}で説く九品往生の思想によると、極楽往生のし方は生前の行いによって9つにわけられます。そして江戸時代になると九品それぞれに阿弥陀如来の印相が設定されるようになります。

----- 九品来迎印 ----- ※江戸時代以降の考え方です -----



ちなみに薬壺^{くすりか}を手を持つ薬師如来さまは、「東方瑠璃光浄土」におられます。病氣治癒、健康長寿など、現世において救いの手を差し延べて下さるありがたいほとけさまです。

